

---

# バカとBAKA

闇音ナイト

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

バカとBAKA

### 【Zコード】

Z5854Z

### 【作者名】

闇音ナイト

### 【あらすじ】

主人公の天城 雪は

実は、同じ年の雨城 晴那に恋をしているが

本人は気付く事無く過ごすが、だんだん自覚していく。

一方、雨城は、天城のことをどう思つてゐるのか・・・。

ベタな恋愛ストーリー バカとBAKA

## 部活めあて（笑）

私は、天城 霽。

今度、中学1年生になる。

私は、一言で云つてバカ。 であるわけなんです。

私にも、春が来たのに、全く気付いていないのだから。

「なあ。中学校、サッカー部ないんだって・・・」

「え・・・そうなの?」

今、一緒に話しているのは、同じクラスで、同じマンションの

あめしろ  
雨城 晴那。  
はるな

サッカーが好きで、6年生の時に引っ越ししてきた。

「まあ、他にもいい部活あるって。」

「天城は、どこに入るか決めてんの?」

なんでアタシのを聞くのよ・・・

とか思つてたけど、ない、と並べば嘘になるし、言った。

「アタシは、演劇部……。」

「……。」

あれ？引かれちゃつたかな……？？

「へへ、なんか意外だけどいいじやん。」

あ……そう……？？

つてか意外だつたんだ。

まだ、ちょっと先だけどなんかワクワクしてきた！

## 回じクラス

ついに私たちは、中学校の門をくぐつた。

「えへっと・・・1組だったよね・・・?？」

組み分けの表が貼られてる中庭は、人でぐちゃぐちゃだった。

だから、1組にはどんな名前の人がいるとか全然見ていない・・・。

「知り合が多いといいな~」

初めての中学校生活・・・知り合いがいると助かるんだけど・・・

ガラッと扉をあける。

(うわ〜、結構いる・・・)

すでに教室には、たくさんのクラスメイトであふれていた。

席は、出席番号順。

なんとか見つけて座ると、見覚えのある子が隣に座っている。

(どうかで見たぞ・・・)

「あーー！小学校のスキー旅行で・・・ー。」

「あーー。」

なんと、スキー旅行で一緒にコーチをいじめてた子だった。

「同じ班の次は、同じクラスかー。」

彼女の名は、山口 やまぐち 百花。ももか

百花は私の名前を聞いて、

「天城つて・・・てんじょうせん・・・・・！」

なんてことを・・・（）笑

見た感じ、相当のゲラであるな・・・。

「アーツ部、」のクラス、てんじょうに似た名前んで。」

「へ？？」

「・・・まさか。

「確か・・・あめ・・・あま？？」

「雨城？」

「アーツ部、」あめじゅう、――。」

まじかよ・・・!?

6年も一緒に・・・中学になつてもか((笑

「やつぱお前か。」

「の姫は

「函城・・・くん。」

「ほえ？ なんで君付け？？」

「また同じクラスやな、よみこへー。」

「お・・・おめで。」

なんや、向こうはあんまりにしないんだ・・・。

つてーー！

なんでアタシが気にしなアカンの！？

「そりだよー普通だよ普通ーーー。」

「なにが？」

「ああー、なんでもないつー！」

な、なんか凄い1年になりそう・・・

## 回じクラス（後書き）

一回目あとがき無しだつたんですね、書いてみました！

あの、ホント、ベタなんで……！

感想よろしくです

## 野外活動・・・!?

私たちはそれから、集会やHRや配り物などなど・・・

いろいろ「ゴチャゴチャしてたけど、やっと授業が始まった。

先生はたくさんいた。

中には、ハ○のひとも・・・

百花は爆笑だった(笑)

そんな感じで、まだまだ始まつたばかりなのに・・・

「それでは、班を発表します。」

なんで、イキナリ野外活動・・・？

私の班は、3班。

班長・雨城

副班長・天城

「・・・・・。」

副班長！？

しかも、雨城と一緒にや！？

あーまたなんか気にしてる・・・

「 もうーなんかアタシおかしいーーー。」

「 うふ。おかしい。」

「 へー。」

「 ほー。・・・口に呑つた(汗)

「 もう あから何変な顔してんの??.」

「へー? 変な顔?」

「うひひの班、あつちぢ。」

「うさ、今行。」

あれ・・・? うひひの班、あつちぢに行へんだっけ?

「うへん、山ねえ。」

「山へ。」

「さつきから何聞いてたん。」

山か～、眞面目に遊つたことないけど。

なんか楽しみかも！！

「天城はすぐ怪我するから気をつけろよ。」

へ！？

今のセリフは・・・雨城？

なんか・・・違和感・・・?

まあいいか!!

## 野外活動・・・！？（後書き）

自分で書いててもベタベタだなと思いました（（笑

野外活動といえば、山登り・・・ですよね？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5854z/>

---

バカとBAKA

2011年12月21日21時49分発行